



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ロイヤルプロ横浜港北インナー 新築工事	階数	地上1F
建設地	横浜市都筑区川向町南耕地地区土地区画整理事業地内街区番号3 符号4、6、7、15、3の一部、5の一部、14の一部、16の一部、18の一部	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,200時間/年(想定値)
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 竣工	評価の実施日	2021年8月6日
敷地面積	7,752 m <sup>2</sup>	作成者	宮本裕也
建築面積	3,025 m <sup>2</sup>	確認日	2021年8月6日
延床面積	2,984 m <sup>2</sup>	確認者	宮本裕也



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 67% (123 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 67% (123 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 67% (123 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 4

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.6

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	メイン道路に面する壁面はできるだけ後退させた位置に配置し、周囲への圧迫感の軽減に配慮した計画とした。また、来客用に十分な駐車スペースを確保し、公共の交通の流通性に配慮しました。	その他 特にありません。
<b>Q1 室内環境</b>	天井高さを3.6m確保し、ゆったりとした空間の創出に配慮します。また、壁・天井の仕上げ材等についてもF☆☆☆☆の材料を使用し、有害物質の発散を小さく抑える様に配慮しました。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 計画敷地内には出来るだけの植栽を計画し、周囲の環境に配慮し、良環境の創設・維持に努めます。
<b>LR1 エネルギー</b>	照明機器はLED機器を採用し、空調機器に関してはCOPの高い機器を採用しました。	<b>LR3 敷地外環境</b> 空調機器はノンフロン冷媒を採用し、排熱についても直接道路に排出しない様に配慮しました。
<b>Q2 サービス性能</b>	店内はバリアフリー仕様とし、来店客の移動をスムーズに行える様に配慮しました。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	特にありません。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

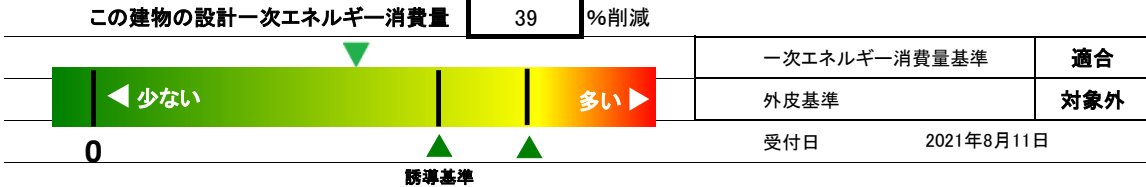


### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)ロイヤルプロ横浜港北インナー 新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①BPI<sub>m</sub>=0.88
- ②太陽光発電システムの採用
- ③BEI<sub>m</sub>=0.61 LED照明を採用し、設備システムの高効率化を図っている。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

- ⑪F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用し、空気室環境に配慮している。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

- ⑫売場天井高さにゆとりを持たせ、快適さが得られるように配慮している。

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)



CASBEE横浜2017年版v.1.7

(仮称)ロイヤルプロ横浜港北インター 新築工事

バージョン

CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>										<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>				<b>2.6</b>	0.15	-	-	-	-	<b>2.6</b>
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能				-	-	-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-	-	-
1.3 吸音				1.0	0.20	-	-	-	-	-
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.6</b>	0.35	-	-	-	-	<b>2.6</b>
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-	-	-	-
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.50	-	-	-	-	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心		⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.17	-	-	-	-	-
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.33	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	1.0	0.20	-	-	-	-	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-	-	-	-
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	-	-	-	-	<b>3.0</b>
3.1 昼光利用				3.0	0.50	-	-	-	-	-
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-	-	-	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	1.00	-	-	-	-	-
3.2 グレア対策				-	-	-	-	-	-	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-	-	-	-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-	-	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.50	-	-	-	-	-
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.7</b>	0.25	-	-	-	-	<b>3.7</b>
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	-	-	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	4.0	1.00	-	-	-	-	-
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	-	-	-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-	-	-	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	-	-	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-	-	-	-
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-	-	-	-
1 CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	5.0	0.50	-	-	-	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	-	<b>3.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	-	-	-	-	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	4.0	0.33	-	-	-	-	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	2.0	0.33	-	-	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-	-	-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.7</b>	0.30	-	-	-	-	<b>2.7</b>
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-	-	-	-
1 耐震性	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-	-	-
2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				2.8	0.30	-	-	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.4 信頼性				2.2	0.20	-	-	-	-	-
1 空調・換気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防災		⑮信頼性	1.0	0.20	-	-	-	-	-
3 電気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防災		⑮信頼性	1.0	0.20	-	-	-	-	-
5 通信・情報設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>				<b>3.6</b>	0.30	-	-	-	-	<b>3.6</b>
3.1 空間のゆとり				5.0	0.30	-	-	-	-	-
1 階高のゆとり				5.0	0.60	-	-	-	-	-
2 空間の形状・自由さ				5.0	0.40	-	-	-	-	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-	-	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-	-	-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-	-	-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-	-	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-	-	-

# CASBEE<sup>®</sup> 横浜 | 評価結果 | 3-056



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 (仮称)ロイヤルプロ横浜港北インター 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-		



スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-	-	1.6
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0		
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40	-	-	1.0		
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑩地域性への配慮		2.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-		
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	3.5		
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	4.2		
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		4.2	0.20	-	-	4.2		
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		5.0	0.50	-	-	5.0		
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-		
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	2.8		
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0		
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60	-	-	2.6		
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.22	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-		
1 消火剤				-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-		
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	3.3		
1 地球温暖化への配慮				4.3	0.33	-	-	4.3		
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	2.4		
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-		
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-		
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-		
2 振動				-	-	-	-	-		
3 悪臭				-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-		
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-	-		
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-		
<b>上記以外の重点項目</b>				-	-	-	-	-		
<b>&lt;事務用途&gt;</b>				-	-	-	-	-		
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-		
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>				-	-	-	-	-		
<b>健康と安心</b>				-	-	-	-	-		
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑭健康対策		-	-	-	-	-		
2 適切な換気計画	健康・安心	⑭健康対策		-	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑭健康対策		-	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑮防犯対策		-	-	-	-	-		